

令和3年度使用中学校用教科書

選定資料

国語（書写）編

令和2年6月

愛知県教育委員会

国語<書写>

教科書選定の基本的な考え方

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

選定資料（国語＜書写＞）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 書式について、バランスよく選択されているか。 イ 教材の内容に合わせて、用筆、結体、布置等は適切に提示されているか。 ウ 我が国の伝統や文化、自然や四季に関する題材、道徳的心情を豊かにする題材等が取り上げられているか。
	(2) 内容の程度 ア 内容の程度は、各学年の発達段階や生活経験に適応しているか。 イ 生徒の学習に適した書体及び用筆等が使用されているか。 ウ 書写を行うときの基礎的な姿勢や技能について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成 ア 内容が系統的に取り扱われているか。 イ 学習目標や計画が立てやすく構成されているか。 ウ 硬筆と毛筆との関連は工夫されているか。
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	ア 姿勢や書写用具に関する資料等の提示について工夫されているか。 イ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 文字を整えて正しく書くための知識・技能を明確に示し、書写の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るよう編集されている。 ア 文字への学習意欲を喚起し、毛筆・硬筆の学習を段階的に日常生活の場面に生かすことができるよう編集されている。
15 三 省 堂	ア 教材ごとに書き方の学びを明確に示し、段階的に学習を進め、次の学びへの意欲が得られるよう編集されている。 ア 毛筆で習得したことを硬筆で生かして書いたり、他教科や生活に役立てる態度が養えたりできるよう編集されている。
17 教 出	ア 書写の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に学習に取り組めるよう編集されている。 ア 文字を効果的に書く力を身に付けることで、学習内容を日常生活や社会の在り方に結び付けられるよう編集されている。
38 光 村	ア 知識・技能の習得と活用を繰り返し、書写の基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、見通しをもって取り組めるよう編集されている。 ア 文字を正しく整えて速く書く力を身に付けることで、他教科や日常の言語生活に生かす態度が養えるよう編集されている。

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 手紙やポスターの書き方等、生活に生かすことができる教材を取り上げ、身に付けたことを役立てることができるよう工夫されている。 ア 文字文化に関するコラムを充実させ、伝統文化に親しんだり、書道への興味をさらに高めたりするよう工夫されている。
15 三 省 堂	ア 教材で学んだことを自分の言葉でまとめる構成となっており、自ら考えたことを継続的に学びに生かすことができるよう工夫されている。 ア 名言集の作成や、書写の授業で学習したことを生かすことで、言葉に対する感性を高められるよう工夫されている。
17 教 出	ア 手紙や案内状の書き方等、実生活に生かすことを目的に、自ら考え、文字や筆記用具を効果的に使うことができるよう工夫されている。 ア 歴史上の人物や各都道府県の城址の文字等を知ることで、日本の文化に触れることができるよう工夫されている。
38 光 村	ア 文字の歴史や書文化に関するコラムを随所に載せ、興味・関心を喚起し、現在の生活につなげて学ぶことができるよう工夫されている。 ア SDGs や日本の伝統文化に配慮した教材を取り入れることで、多様な見方や考え方に触れられるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	ア 書式について、バランスよく選択されているか。 イ 教材の内容に合わせて、用筆、結体、布置等は適切に提示されているか。 ウ 我が国の伝統や文化、自然や四季に関する題材、道徳的心情を豊かにする題材等が取り上げられているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 「書写活用ブック」では、手紙やポスター、レポート等の書式が示され、日常生活の場面で生かすことができるよう工夫されている。 イ 正しく整えて書くためのポイントを「書写のかぎ」で示し、「生かそう」で他の文字に生かすことができるようになっている。 ウ 「文字のいずみ」には、文字の成り立ちや伝統的な用具・用材、古典文学等が、写真や資料とともに掲載されている。
15 三 省 堂	ア 「やってみよう」では、グループ新聞や情報誌、名言集等が示され、日常生活の場面で学習を生かすことができるよう工夫されている。 イ 単元の後に「書いて身につけよう」を設け、学習したポイントを繰り返し練習し、確認することができるようになっている。 ウ 「資料編」には、四季を感じる時候の挨拶や、様々な書式、道具の歴史等が、写真や資料とともに掲載されている。
17 教 出	ア 「学習を生かして書く」では、レポートや手紙、掲示物等の書式が示され、日常生活の場面に生かすことができるよう工夫されている。 イ 毛筆の筆使いのポイントとなる部分を拡大して示すことで、穂先の動きや筆の運びを理解することができるようになっている。 ウ 「コラム」には、歴史上の人物が残した文字や日本建築の中に見られる書等が、豊富な写真とともに掲載されている。
38 光 村	ア 「学校生活」「国語」では、学級スローガンやメモ、壁新聞等の書式が示され、日常生活の中に生かすことができるよう工夫されている。 イ 筆の写真を用いて穂先の向きや筆圧の様子を示し、視覚的に筆使いや学習のポイントを理解することができるようになっている。 ウ 「国語」「コラム」には、季節の短歌や文字の歴史、源氏物語年表等が、イラストや写真とともに掲載されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	ア 内容の程度は、各学年の発達段階や生活経験に適応しているか。 イ 生徒の学習に適した書体及び用筆等が使用されているか。 ウ 書写を行うときの基礎的な姿勢や技能について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習の内容は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 各教材で「書写のかぎ」を系統的に配置し、「生活に広げよう」で実生活に生かすことができるよう工夫されている。 イ 端正で品のある書風で、朱を交えた淡墨書を随所に用いて筆脈や穂先の通り道が分かるよう工夫されている。 ウ 文字を整えて書くための姿勢、書きやすい鉛筆の持ち方についてチェック欄を設け、自分で確認できるよう配慮されている。 エ 「生活に広げよう」では、実生活に即した発展的な学習の場を設け、様々な作品例を参考に、学習できるよう工夫されている。
15 三 省 堂	ア 親しみがもてる身近な題材を取り入れ、学年に応じて学習したことを生かすことができるよう工夫されている。 イ のびのびと明るい書風で、朱墨と淡墨を用いて、穂先の通り道や筆脈が理解しやすいよう工夫されている。 ウ 正しい姿勢や鉛筆の持ち方について写真を用いて分かりやすく示し、書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう配慮されている。 エ 「学びを広げる」や資料編では、古典の筆跡や文房四宝、補充教材などを掲載し、多様な学びが実現するよう工夫されている。
17 教 出	ア 学習の進め方を明確に示して、基礎的・基本的な知識・技能から実生活に生かすことができる内容まで取り組めるよう工夫されている。 イ 自然な用筆・結体の文字を採用し、丁寧な解説図版で穂先の動きや筆の運びが分かるよう工夫されている。 ウ 正しい姿勢や筆記具の持ち方を詳しく説明し、「なぞり書き」を取り入れて、書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう配慮されている。 エ 「学習を生かして書く」では、学習課題や習熟度に合わせ、効果的な書き方を自分で考えることができるよう工夫されている。
38 光 村	ア 発達段階に応じて段階的に教材を配列し、学習内容を焦点化することで、効率的に学習できるよう工夫されている。 イ 端正で動きのある書風で、朱を交えた淡墨書を随所に用いて筆脈や穂先の通り道が分かるよう工夫されている。 ウ 正しい姿勢や筆記具の正しい持ち方を説明し、字形の整え方や学習の進め方について見通すことができるよう配慮されている。 エ 「文字を使い分ける」では、文字への興味・関心を高め、身の回りにある文字について考えることができるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 内容が系統的に取り扱われているか。 イ 学習目標や計画が立てやすく構成されているか。 ウ 硬筆と毛筆との関連は工夫されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」で学習の流れが明示され、学習したことを実生活に生かせるよう工夫されている。 イ 各教材の冒頭で思考し、目標と照らし合わせながら確かめることで、自ら学習を進めていくことができるよう工夫されている。 ウ 硬筆と毛筆を1ページに併置し、学習するポイントを明示することで、効率よく学習できるよう工夫されている。
15 三 省 堂	ア 学習した内容を自分の言葉で書き残す欄が設けられ、書くことの有益性を考えながら、次の学習へつなげていくことができるよう工夫されている。 イ 「目標を確かめよう」「書き方を学ぼう」を示すことで、自ら学習目標を見付け、考えながら練習できるよう工夫されている。 ウ 「書いて身につけよう」では、硬筆で繰り返し書くことで、毛筆の学習を生かすことができるよう工夫されている。
17 教 出	ア 「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習の流れが明示され、学習したことを繰り返し練習することで、定着するよう工夫されている。 イ 各教材で「試し書き」の欄を設け、学習内容と照らし合わせることで、自ら学習目標を立てることができるよう工夫されている。 ウ 硬筆の「試し書き」で見付けた課題を毛筆で学習し、硬筆に応用することで効果的に学習できるよう工夫されている。
38 光 村	ア 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」「学習を振り返る」という学習の流れが明示され、「書写ブック」で繰り返し練習できるよう工夫されている。 イ 具体的で分かりやすい目標と活動内容が設定され、主体的に学習を進めていくことができるよう工夫されている。 ウ 「書写ブック」では、硬筆で繰り返し練習することで、毛筆で学習したことを生かすことができるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 姿勢や書写用具に関する資料等の提示について工夫されているか。</p> <p>イ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>ウ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 用具の名前や置き方、筆記具の正しい持ち方等が多くの写真と詳しい説明によって分かりやすく示されている。</p> <p>イ 学年ごとに中表紙があり、学習内容が一覧できる。主な学習活動が図記号で示され、見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 古典に関する図版を多用し、日本の伝統文化への興味を喚起して、書道への興味がさらに高まるよう工夫されている。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 文字を書くときの姿勢と構え方、筆の運び方、筆記具の持ち方等を多く取り上げて分かりやすく示されている。</p> <p>イ 学習要素にインデックスを付け、見出しは太字で表記している。説明を簡潔にし、自らの気付きを大切にするよう工夫されている。</p> <p>ウ 写真や図版、作品例が豊富に掲載されており、伝統的で豊かな日本の文字文化に触れることができるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>ア 太筆、小筆、鉛筆、ボールペン等の持ち方の写真をそれぞれ並べて掲載し、違いが分かりやすく示されている。</p> <p>イ 学年ごとに中表紙があり、身に付けたい力が示されている。気付いたことを書く欄を設け、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「短冊と色紙」では、歴史的資料の写真などを適宜取り上げ、書道への興味・関心がさらに高まるよう工夫されている。</p>
38 光 村	<p>ア 毛筆・硬筆で書くときの姿勢、筆記具の持ち方、用具の名称や置き方等が、写真と解説で簡潔に示されている。</p> <p>イ 3年間の学習内容を五つに分け、中表紙に大きく示している。主な学習活動が太字で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 全国文字マップなど身近に見られる様々な文字や用具の製造工程を取り上げ、意識を高めていくよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 印刷は鮮明度が高く、読みやすい配色やフォントを採用しており、使いやすい紙面となっている。</p> <p>イ 色や要素を抑えたり、教材文字の配置を見やすく工夫したりすることで、視覚的に学びやすい紙面となっている。</p> <p>ウ 表紙はビニル引きで光沢があり、横幅を広くした紙面を生かし学習のポイントを確認できる紙面となっている。</p>
15 三 省 堂	<p>ア 印刷は鮮明度が高く、識別しやすい配色やフォントを採用しており、学びやすい紙面となっている。</p> <p>イ 色による区別のほか、形や番号、学びのポイント等の補助的な手掛かりを設けることで、視覚的に理解しやすい紙面となっている。</p> <p>ウ 表紙はビニル引きで、堅ろうな造本となっており、硬筆で繰り返し学習するのに適した紙面となっている。</p>
17 教 出	<p>ア 印刷は鮮明度が高く、判読しやすい配色やフォントを採用しており、学びやすい紙面となっている。</p> <p>イ 見開き完結型のページや図記号が採用され、見やすく、文字の基本的な書き方が確認しやすい紙面となっている。</p> <p>ウ 表紙はビニル引きで光沢があり、横幅を広くした紙面を生かし、文字感覚を身に付けやすい紙面となっている。</p>
38 光 村	<p>ア 印刷は鮮明度が高く、見分けやすい配色やフォントを採用しており、読みやすい紙面となっている。</p> <p>イ すっきりとしたレイアウトや、文字を識別しやすい配色を採用するなど、読みやすく理解しやすい紙面となっている。</p> <p>ウ 表紙はビニル引きで光沢があり、練習帳を別綴じすることで、習得したことを確かめられる体裁となっている。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	新しい書写 一・二・三年
15 三省堂	株式会社三省堂	現代の書写 一・二・三
17 教出	教育出版株式会社	中学書写
38 光村	光村図書出版株式会社	中学書写 一・二・三年